



## 2008北京オリンピック水泳米国代表チーム

かのマイケル・フェルプスを擁する水泳米国代表チームも、PX2の教育メニューをこなしました。その結果はご存知のとおり。前人未到の8冠を得たマイケル・フェルプスをはじめ、チームでは合計 31個ものメダルを獲得する大成功を取めたのです。

[目標実現]



## メキシコとラテン・アメリカ諸国の教育改革

前メキシコ大統領ビンセント・フォックス夫妻との協働により、メキシコとラテン・アメリカ諸国の教育の改革に取り組んでいます。貧困からの脱却は、教育による次世代のリーダーの育成であるとのビンセント・フォックス氏のビジョンに共鳴し、PX2を通じた青少年育成を展開しています。



[学力向上]



## 米国ロサンゼルス ベターLAプロジェクト

ロサンゼルスコミュニティから暴力を追放し、安定化を目指す「ベター LA プロジェクト」はPX2プログラムを採用。子ども達をギャングの脅威から守り、凶悪犯罪の低年齢化を抑制、特に青少年同士の銃殺事件などの犯罪を激減させ、地域活性化の実現に貢献しました。

[暴力追放]



## BWFインターナショナルOFFICERS



### ルー・タイス BWFインターナショナル会長

アメリカ・ワシントン州生まれ。シアトル大学卒業後、ワシントン大学で教育学、精神衛生学の修士号を取得。シアトルでの高校教師生活をを経て、人間が成功するための心の仕組みを研究。独自の教育プログラムIIEを開発し、1971年にTPI (The Pacific Institute) を設立。現在、TPIプログラムはフォーチュン500社の約62%にのぼる企業に導入され、米国ではNASA、国防総省をはじめとした連邦政府機関、各州政府、警察、小中学校、さらに主要な大学などの教育プログラムとして公式に採用されている。2012年4月逝去



### 苔米地英人 BWFインターナショナル代表理事

マサチューセッツ大学を経て、1983年上智大学外国語学部英語科卒業。イエール大学大学院計算機科学科博士課程を経て、カーネギーメロン大学大学院哲学科計算言語学研究科博士課程修了 (Ph.D.)。現在同大学 CyLab フェロー。通商産業省情報処理振興審議会専門委員など。著書に『まずは親を超えなさい!』『夢をかなえるPX2完全マスター』等。

## PX2プログラムの製作には、以下の心理学者の方々にご協力をいただいています。

アルバート・バンデューラ (スタンフォード大学心理学部教授)  
 マーティン・セリグマン (ペンシルバニア大学心理学部教授 / 元全米心理学会理事長)  
 ゲーリー・レイサム (トロント大学教授 / 元カナダ心理学協会会長)  
 グレン・テリル (元ワシントン州立大学学長 / 全米心理学会評議員 / 全米科学連盟評議員) 他、多数

## BWF (The Better World Foundation) インターナショナルとは?

世界の教育の高度化を目的とした非営利団体です。活動の主な目的は、世界中の子どもたちと、子どもたちに関わる人たちすべてに、「人生の可能性の開き方」を広め、戦争と差別のない、よりよい世界の実現を目指していくことです。

(組織のゴール)

1. 人種や国境を越えて、共同して生きる次世代のリーダーを育成する
2. 環境問題、人権問題、貧困問題など世界の諸問題に応えられる人材を育成する
3. 一人ひとりが自分の真の夢を見つけて実現していくためのあらゆるプログラムを開発し提供する

お問い合わせ・お申し込みはBWFインターナショナルサイトから

<http://www.bwf.or.jp>

一般財団法人 BWFインターナショナル 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-22-7 道玄坂ピア4F TEL 03-5785-4288 FAX 03-5772-1127